

## ■市営バスにおける2024年問題による影響

### 1 2024年問題への具体的な対応

#### ① 主なダイヤ改正の内容

(1) 始発便の一部繰り下げ、最終便の一部繰り上げ及びそれに伴う減便

・始発便の繰り下げ

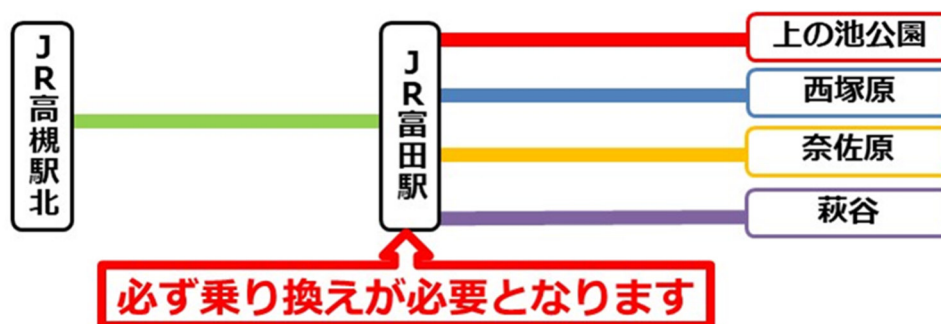
平 日 (城西町発) 1 路線 8 分の繰り下げ 富田南線  
 (JR 高槻駅南向き) 1 路線 10 分の繰り下げ 富田南線  
 土日祝 (城西町/JR 高槻駅発) 2 路線 1 分～10 分の繰り下げ 富田南線、原・上の口線  
 (JR 高槻駅南向き) 1 路線 9 分の繰り下げ 富田南線

・最終便の繰り上げ

平 日 (JR 高槻駅発) 13 路線 7 分～24 分の繰り上げ  
 富田団地、大塚、日吉台、原・上の口、芝谷、南平台東 他7路線  
 (JR 高槻駅向き) 10 路線 2 分～30 分の繰り上げ  
 富田団地、原・上の口、芝谷 他7路線  
 土日祝 (JR 高槻駅発) 8 路線 8 分～15 分の繰り上げ  
 富田団地、大塚、原・上の口 他5路線  
 (JR 高槻駅向き) 8 路線 3 分～30 分の繰り上げ  
 富田団地、大塚、原・上の口 他5路線

(2) 国道線の分離によるダイヤの均等化及び仕業の効率化

・全ての便が「JR 富田駅」を経由し、直接「JR 高槻駅北」まで運行していたが、以下の図のとおり「奈佐原線、萩谷線、阿武山・塚原線」について、全て「JR 富田駅発着」とした



【参考】

駅⇄奈佐原・萩谷・阿武山塚原方面

|     |       | R5<br>(JR高槻) | R6<br>(JR富田) |
|-----|-------|--------------|--------------|
| 平日  | (駅発)  | 56便          | 56便          |
|     | (駅向き) | 49便          | 49便          |
| 土日祝 | (駅発)  | 43便          | 43便          |
|     | (駅向き) | 34便          | 34便          |

JR高槻駅北⇄JR富田駅

|     |           | R5  | R6  |
|-----|-----------|-----|-----|
| 平日  | (JR高槻駅発)  | 58便 | 42便 |
|     | (JR高槻駅向き) | 52便 | 42便 |
| 土日祝 | (JR高槻駅発)  | 47便 | 35便 |
|     | (JR高槻駅向き) | 36便 | 32便 |

## 2 2024年問題による影響

### ① 利用者への影響

#### ■始発便の一部繰り下げ、最終便の一部繰り上げの影響

- ・最終便の一部繰り上げを行うことにより、結果的に一部の路線で減便となっている

☞ダイヤ改正後のODデータ分析では、前後の便に分散乗車されている状況であり、大幅な乗客の減少や積み残し等は発生していない

#### ■国道線の分離による影響

- ・JR高槻駅北から奈佐原線、萩谷線、阿武山・塚原線を利用する際は、必ずJR富田駅での乗り換えが必要となった
- ・JR富田駅⇄奈佐原線、萩谷線、阿武山・塚原線の便数については減便なし
- ・JR高槻駅北⇄JR富田駅間の便数については発車時刻を均等化の上、減便

☞乗り換えが必要となったことについて、利用者から「JR高槻駅への移動が不便になった」「1日数便でもよいので直通便を復活させてほしい」等の意見や問合せが一定数ある（資料－10：アンケート調査結果参照）

#### ■その他

- ・大学輸送等の臨時便について、午前中（早朝）の対応が難しくなった
- ・貸切バスについて、配車可能時間を1時間繰り下げ（9時→10時）

### ② 運行管理上の影響

- ・休息期間確保（最低9時間以上）だけでなく、拘束時間上限（1年間、1か月）、運転時間上限（4週平均）もあり、以前と同様の勤務割付は不可能
- ・労働時間管理の複雑化や、運転士の勤務割付の高難度化に対応するため、「運転士の勤務時間管理の業務」として営業所管理職に専任で担わせている
- ・改善基準告示を遵守するために、前述の取組により労働力を確保する他、運転士の採用も継続して行うことで、現状は何とか2024年問題に対応できている状況
- ・管理部門では労働力確保に苦勞する一方、運転士側では「残業をしたいができない」との意見も聞かれる

### ③ 今後の対応方針

- ・交通部としては、市営バス利用者への影響が最小限となるようこのような対応としたが、運転士確保やODデータの分析については、引き続き行っていく
- ・現状では、大規模な減便や路線廃止には至っていないが、今後については不透明な状況